

# 高度医療・教育・研究を統合する構造転換型大学病院機能強化事業

## 香川県の地域医療問題

- ・ 医師不足と超高齢化
- ・ 人口減少による医療施設の慢性的な経営不振
- ・ 医療施設数が、2040年までに6割減と予測
- ・ 中小手術が必要な患者を受け入れることできる診療施設が激減
- ・ 医療DXを学ぶ機会がないので、導入が進まない

## 県内外科医の惨状

- ・ 社会的背景による若手外科医の減少（特に心臓血管外科と脳外科の専攻医数は、毎年1名以下）
- ・ 高齢化に伴いリタイアする外科医の増加
- ・ 一人当たりの診療業務の増大、働き方改革も相まって研究や教育に費やす時間的余裕なし
- ・ 大学病院でも診療のみで勤務時間が規定に抵触する外科医多数

## 高度医療の集約と人材育成・還流による地域医療の好循環創出 (本事業)

### マネジメント体制の強化 と医療資源の再編

#### 主要導入設備

R7年度導入済：  
手術用AI画像認識  
支援プログラム

R7年度導入済：  
人工関節置換手術  
支援ロボット

新規導入：

次世代統合型  
人工心肺システム

新規導入：

脳神経外科手術  
支援システム

新規導入：

高度医療人材育成  
支援スキルラボ  
システム



### 人材基盤の強化

「教育医長」の設置、新規人材雇用

### 強化される機能

世界トップレベルの技術を持つ高度外科医の養成

臨床研究環境の整備による  
外科領域研究の強化

メディカルスタッフ育成による外科医の診療環境改善  
(診療のみならず医学教育も実施)

高度外科治療を可能とする  
高度急性期病院に機能分化

安定した経営基盤と  
高度外科医の拡充

高度外科治療が  
必要な患者  
を紹介



大学病院



地域医療機関



地域で活躍  
できる外科医  
の派遣

高度手術の集約化と外科医の還流による  
地域医療再編と高度医療の実践